# 北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

| 科目名 | 現代韓国経済論 | 科目コード | 1168 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者名 | 李　炯直 | 開講セメスター | 第3セメスター | 開講年次 | 2年次 |
| 授業の方法 | 講義 | 到達目標 | B,F | 実務経験 | 無 |
| ナンバリング | DCe304 | ※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照 | | | |

## 授業のねらい

現代の韓国経済について理解を深めることで、東アジアを含む国際社会における生活水準や経済環境の違いから生じる多様な価値観・世界観を理解し、国際的視野を広げる力を養うことを目的とする。

## 到達目標

①本講義では、韓国経済の歴史的背景を学びつつ、現代韓国経済の実態と今後の課題について積極的に議論することができる。
②英語の文献を通じて現代韓国経済を学び、英文のニュース記事や学術論文に見られる多様な韓国経済の動きを正確に把握する力を養う。

## 授業内容

1週目 オリエンテーション：現代韓国経済の理解に当たって
2週目 国際貿易と現代韓国経済?：現代韓国の生産可能性フロンティア（PPF）
3週目 国際貿易と現代韓国経済?：生産可能性フロンティア（PPF）と現代韓国の経済成長
4週目 国際貿易と現代韓国経済?：生産における現代韓国の絶対優位性
5週目 国際貿易と現代韓国経済?：生産における現代韓国の比較優位性
6週目 国際貿易と現代韓国経済?：現代韓国における生産の特化と交易による効果
7週目 中間テスト?及び国際貿易と現代韓国経済のまとめ
8週目 現代韓国経済史?：朝鮮戦争と韓国経済
9週目 現代韓国経済史?：韓国の第1共和国による経済成長戦略
10週目 現代韓国経済史?：朴正熙（パク・チョンヒ）政権を含む韓国軍事政権期の経済成長戦略
11週目 現代韓国経済史?：韓国の文民政権（1993年以降）による経済成長戦略
12週目 現代韓国経済史?：韓国におけるIMF経済危機とその回復
13週目 中間テスト?及び現代韓国経済史のまとめ
14週目 映像・映画から学ぶ現代韓国経済
15週目 総合理解度テスト及び韓国経済の動向についてディスカッション
16週目 16週目の開講は任意とするが、必要に応じて講義全体に対するフィードバック（テスト返却や講評など）を行う。ただし、15週目までに予定した授業内容を実施出来なかった場合は補講を実施する。

## 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：本学のEラーニングシステム（manaba）もしくはGoogle Classroomを利用し、事前に提示される次回の講義資料を読むこと。（必要な予習時間：1時間以上）
復習：毎回の講義内容をまとめたノートを作成し、総合理解度テストの準備に活用すること。（必要な復習時間：1時間以上）

## 成績評価の方法・基準

中間テスト?:20%
中間テスト?:20%
総合理解度テスト：50%
映像・映画から学ぶ現代韓国経済(第14週目の講義内容)に対する報告書:10%

## 履修上の留意点

授業中、事前許可なしでの通話、写真撮影eなどの携帯電話使用は厳禁。
2回の「遅刻」もしくは「早退」は1回の「欠席」取扱いとする。
成績評価は、出席率3分の2以上の学生を対象とする。

## 課題に対するフィードバックの方法

採点を行い、点数とコメントを本学のEラーニングシステム（manaba）もしくはGoogle Classroomを通じてフィードバックを行う。

## テキスト

特になし。
必要な資料は本学のEラーニングシステム(manaba)もしくはGoogle Classroomを利用し配布する。

## 参考書

朴 根好（2015）『韓国経済発展論　高度成長の見えざる手』（東洋経済新報社）5,500円

## 更新日付

2026/01/24 11:15